

# 違法伐採対策の推進について



平成23年10月26日



小澤 真虎人  
林野庁木材貿易対策室長

## 本日のテーマ

我が国の違法伐採対策これまでの成果

- 国内対策
- 国際的な取組

今後の課題と取り組み方向

## 違法伐採問題



違法伐採とは、一般的にそれぞれの国の法律に反して行われる伐採を指すが、貧困、政府の腐敗等背景は複雑

影響

- 生産国における持続可能な森林経営の阻害、森林減少・劣化
- 正当なコストを支払っていない、違法伐採木材、木材製品が国際市場で流通することによって輸入国の持続可能な森林経営を阻害
- 本来、環境にやさしい資材である木材への信頼性の低下、他資材への転換

対応

木材生産国・加工国・消費国の各取組・協力

- 国内法の整備  
政府調達制度／違法伐採木材製品等を市場から排除する法的措置
- 途上国（生産国）支援・協力

## 合法木材に関する取り組み グリーン購入法

国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（2000年法律第100号）

- 環境負荷の低減に資する物品・役務（環境物品等）について国等の公的部門における調達の推進、情報提供等により、環境負荷の少ない持続可能な社会の構築

基本方針（閣議決定）

- 環境物品リスト
- 環境物品の要件（判断の基準、配慮事項）の決定
- 調達方針作成のための基本的事項

2006年から、合法性等の証明された木材・木材製品を環境物品（紙類、文具、ベッドフレーム、オフィス家具、公共工事資材）に位置づけ

義務的に実施

努力義務、一般的責務

国会、裁判所、各省庁、  
独立行政法人等

地方公共団体等

- 調達方針の作成（努力義務）

- 調達方針の作成、公表
- 調達実績の公表

民間事業者、国民

- できる限り環境物品等を選択（一般的責務）

※基本方針や各省等の調達方針の中でガイドラインに基づく合法木材の優先調達を明記

## 「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」で示した証明方法

森林認証とCoC認証を活用した方法

業界団体による自主的行動規範に基づく事業者認定による方法

個別企業による自主的な証明方法

## これまでの成果（主な実績）

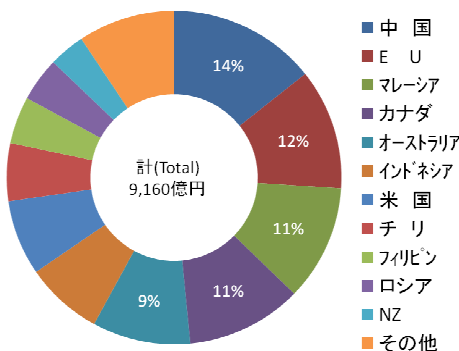
### ● 合法木材の供給に取り組む事業者及び供給量の拡大

	(2006 →	2010)
✓ 認定団体数	108	→ 140
	中央団体 19	→ 22
	地方団体 89	→ 118
✓ 認定事業者数	4,906	→ 8,114
	中央団体 1,030	→ 1,380
	地方団体 3,876	→ 6,734
✓ 国産の素材生産に占める割合	40%	→ 66%
✓ 輸入合板に占める割合(2009)		75%

## 二国間協力・対話の拡大

### ○ 中国との連携

木材輸入実績(2010)



財務省「貿易統計」

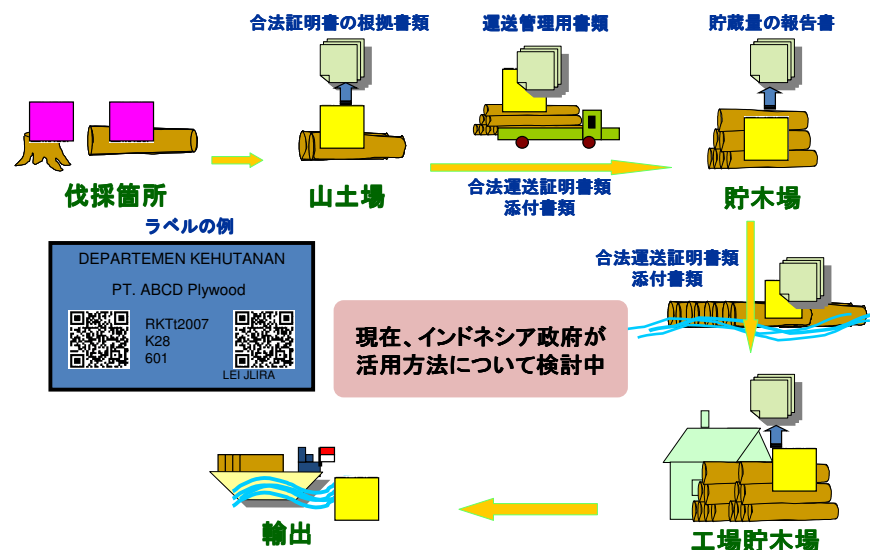
・中国は我が国の木材輸入額で第一位  
・中国は原木を輸入して製品を輸出する加工貿易国

第3回日中ハイレベル経済対話  
(2010年8月)

日中の違法伐採等の協力に関する覚書について  
実質合意

平成23年8月署名

## インドネシアとの協力 二次元バーコードを活用した木材追跡システムの開発 (平成17年度～平成22年度)



# 今後の課題と取り組み方向

(1) 公的機関によるグリーン購入の徹底

(2) 民間企業・一般消費者等への普及

(3) 合法性証明の信頼性向上

## まとめ：我が国の違法伐採対策のスタンス

木材を取り扱う業界の自主性を尊重し、ボトムアップを図る

### 特色

- 国内外を問わず参加が容易
- コスト負担が小さく、木材価格の上昇や行政負担の拡大を招かない【他資材(金属、プラスチック等)との競合にも対応】
- 国内外の木材・木材製品を差別しない

方向：合法性の証明された木材の①「供給・需要の拡大」、②「質的向上」を通じ木材市場を満たす

## ① 合法木材の供給・需要両面での拡大

### 供給の拡大

1. 国内  
供給者を対象とした働きかけ、研修等
2. 海外  
中国との覚書締結  
生産国における技術協力

### 需要の拡大

1. 公共建築物等への木材利用促進
2. 消費者の認知度向上を目的としたPR
3. 合法性を製品に表示することによる  
選択の促進

平成23年度補助事業による実証事業  
24年度以降、表示の拡大

## ② 合法木材の質的向上

### 海外

トレーサビリティ技術の開発と普及

### 国内

供給者のデータベース作成  
証明のモニタリング

合法木材を流通させることによって違法伐採木材を国内、そして世界のマーケットから排除します。

ありがとうございました。